

西東京市におけるいじめ防止等に関する取組について

1 平成28年度における取組状況について〔以下の数値は、12月末日時点までのもの〕

(1) 市いじめ防止対策推進条例に基づく付属機関等の状況

① 西東京市いじめ問題対策連絡協議会

目的	いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携を図るため。
委員構成	市立学校長、市立学校保護者、民生・児童委員、小平児童相談所長、田無警察署課長、多摩小平保健所課長、健康福祉部課長、子育て支援部課長、教育部課長
実施状況	第1回 平成28年5月25日 第2回 (調整中)

② 西東京市教育委員会いじめ問題対策委員会

目的	西東京市いじめ問題対策連絡協議会との連携の下、いじめの防止等のための対策を実効的に行うようにするため。また、重大事態が発生した際には緊急に対応する。
委員構成	大学教授、弁護士、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー
実施状況	第1回 平成28年9月24日 第2回 平成29年2月9日

(2) 学校いじめ対策委員会の実施状況

小学校	平均14.4回
中学校	平均12.5回

(3) いじめ問題に関する教員研修の状況

① 教育委員会主催研修等

	実施日	対象	講師	参加者数
いじめ防止対策推進研修	28年5月13日	新規採用・転入教員〔悉皆〕	統括指導主事	113名
デジタルコンテンツ活用研修	28年6月21日	情報教育担当	遠鉄システムサービス株式会社 犬塚 千晃	27名
いじめ問題スペシャリスト養成研修	28年8月3日	生活指導主任	武蔵野大学教育学部 教授 堀米 孝尚 東京聖栄大学 教授 有村 久春 統括指導主事	27名
初任者宿泊研修	28年8月24日	1年次教員	統括指導主事	33名
校長研修	28年12月2日	校長	東京弁護士会	27名

② 校内研修

小学校	平均2.2回
中学校	平均2.2回

(4) いじめ問題に関する授業等の状況

	小学校	中学校
いじめに関する授業実施回数	平均2.3回	平均2.3回
デジタルコンテンツ活用回数	平均2.4回	平均1.6回
弁護士による授業受講人数		1318名

(5) 児童会・生徒会等による、児童・生徒の主体的な活動の事例

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> 代表委員によるいじめ防止の集会を実施した。 代表委員が手作りのすきをかけていじめ防止の呼び掛けを行った。 児童会が発信する、「・・・小をよりよくするための呼びかけ」の中に、いじめ防止に関連する内容を追加する。(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会役員が中心となり、「いじめ撲滅宣言」を各教室に掲示している。 新入生には、対面式の場で生徒会役員から各クラスに「いじめ撲滅宣言」を手渡している。 対面式で、生徒会役員が「いじめ」をテーマにした寸劇を行い、新入生を中心に全校生徒に「いじめ撲滅」を訴えた。

(6) スクールアドバイザー活用状況

	小学校	中学校
学校からの相談件数	28件	30件
学校への訪問回数	61回	81回

(7) スクールカウンセラー活用状況 (相談件数)

小学校	131件
中学校	36件

(8) 電話相談窓口〔ゆうやけ電話相談〕利用状況【6月28日より開始】

小学生からの相談件数	3件
中学生からの相談件数	1件

2 西東京市立学校から西東京市教育委員会へのいじめに係る報告状況

		小学校		中学校	
認知件数※1		274件	100%	33件	100%
解消までの期間	5日以内	147件	54%	4件	12%
	10日以内	76件	28%	5件	15%
	15日以内	43件	16%	17件	52%
	16日超	7件	2%	7件	21%
対応中		1件	0.003%	0件	0%

※1 認知件数 12月末日までの学校から教育指導課スクールアドバイザーへの報告件数